

氷見市集中改革プランⅡ

(実施計画案【平成26年度版】)

平成26年7月
氷見市

1 計画期間中の財政収支

(1) 財政収支見通し

平成22年度から平成26年度までの一般会計の収支(一般財源ベース)の見込み等は、次のとおりです。

●現状における財政収支見通し ～平成26年度当初予算ベース(H26.3月末専決後試算)～

一般会計(国・県支出金等の特定財源を除く一般財源ベースでの収支)

(単位:百万円)

年 度	今 回 試 算						前回試算 5年間合計 (2)	増 減 (1)-(2)	備 考
	H22	H23	H24	H25	H26	合 計 (1)			
市税	5,322	5,424	5,467	5,420	5,248	26,881	26,731	150	固定資産税、法人市民税法人税割の増 など
普通交付税	7,643	7,386	7,245	6,979	6,764	36,017	35,780	237	平成25年度交付税の確定
特別交付税	1,200	1,174	1,347	1,491	950	6,162	5,551	611	広域ごみ処理施設整備分 など
譲与税、交付金	880	840	788	757	776	4,041	4,383	△ 342	地方消費税交付金の見込みの減など
その他の収入	202	53	37	37	32	361	437	△ 76	
歳入合計(A)	15,247	14,877	14,884	14,684	13,770	73,462	72,882	580	← 歳入増
人件費	3,674	3,699	3,504	3,323	3,351	17,551	17,603	△ 52	
扶助費	850	892	962	1,041	1,031	4,776	4,752	24	
公債費	3,282	3,077	2,942	2,803	2,692	14,796	14,835	△ 39	
投資的経費	925	936	957	1,649	946	5,413	5,608	△ 195	平成24年度決算額の確定など
繰出金	3,440	3,495	3,424	3,517	3,509	17,385	17,522	△ 137	後期高齢者、国保、下水道、介護に係る繰出金の減 など
減債基金積立金	25			150		175	25	150	
物件費、維持補修費、補助費等	2,372	2,341	2,462	2,476	2,536	12,187	11,639	548	平成24年度決算額確定による増など
歳出合計(B)	14,568	14,440	14,251	14,959	14,065	72,283	71,984	299	← 歳出増
収支差引額(A-B)①	679	437	633	△ 275	△ 295	1,179	898	281	
前年度からの繰越金(1/2)②	271	382	298	320		1,271	1,237		
財政調整基金からの繰入れ③	160	150		241	195	746	751		
減債基金からの繰入れ④					100	100	100		
特定目的基金の活用	(341)	(196)	(150)	(110)		(797)	(760)		
公債費繰上償還分⑤	△ 346	△ 372	△ 291	△ 165		△ 1,174	△ 1,009		
決算収支合計(①～⑤)	764	597	640	121	0				

※ 収支均衡 ⇒ H25については、次頁で説明。H26については、予算で収支均衡を図る。

- 備考 1 「前回試算」とは、平成25年度実施計画で試算した金額である(H25.6試算)。
 2 普通交付税には、臨時財政対策債を含む。
 3 「特定目的基金の活用」欄中括弧書き金額は、歳出額に充当されている。

(2) 平成 25 年度財政収支見込み（平成 26 年 3 月末専決後）

歳入については、地方交付税及び市税の増額などにより、平成 25 年度「実施計画」で試算した額（以下「前回試算額」という。）に比べ、9 億 3 百万円の増を見込んでいます。

一方、歳出については、投資的経費の増などにより、合計で前回試算額に比べ、5 億 6 千 1 百万円の増を見込んでいます。

その結果、前回試算額に比べ 3 億 4 千 2 百万円の改善となっており、公債費では、1 億 6 千 5 百万円の繰上償還も行っています。

● 平成 25 年度決算見込額と前回試算額との比較

（単位：百万円）

区 分	平成 25 年度			備 考
	決算見込額 (1)	前回試算額 (2)	比 較 (1)-(2)	
市税	5,420	5,291	129	固定資産税の増 など
普通交付税	6,979	6,746	233	H25 決定額
特別交付税	1,491	950	541	広域ごみ処理施設整備分 など
譲与税、交付金	757	757	0	
その他の収入	37	37	0	
歳入合計(A)	14,684	13,781	903	← 歳入増
人件費	3,323	3,323	0	
扶助費	1,041	1,003	38	
公債費	2,803	2,803	0	
投資的経費	1,649	1,340	309	広域ごみ処理施設負担金など
繰出金	3,517	3,635	△118	
減債基金積立金	150		150	
物件費、維持補修費、補助費等	2,476	2,294	182	
歳出合計(B)	14,959	14,398	561	← 歳出増
収支差引額(A-B) ①	△275	△617	342	
前年度からの繰越金(1/2)②	320	286	34	
財政調整基金からの繰入れ ③	241	441	△200	
減債基金からの繰入れ ④		100	△100	
特定目的基金の活用	(110)	(60)	(50)	
公債費繰上償還分 ⑤	△165		△165	
決算収支合計 (①～⑤)	121	210	△89	

備考 1 「前回試算」とは、平成 25 年度実施計画で試算した金額である。(H25.6 試算)

2 普通交付税には、臨時財政対策債を含む。

3 「特定目的基金の活用」欄中括弧書き金額は、歳出額に充当されている。

(3) 平成 26 年度の財政収支について

平成 26 年度については、予算において、歳出の抑制、特定目的基金の活用、財政調整基金及び減債基金の取崩しなどにより、必要な財源を確保し、収支の均衡を図りました。

執行に当たっては、後述する具体的な取組項目のほか、予算編成時において計画した事業を予算の範囲内で着実に実施するとともに、今後予想される年度途中における事情変更にも適切に対応することにより、収支の均衡を確実なものとしします。

2 プランの実績

(1) 市税の現年度収納率 (単位：%)

区 分	実 績					目 標
	H22	H23	H24	H25	H26	
収 納 率	(H23.5 末) 98.9	(H24.5 末) 98.8	(H25.5 末) 99.2	(H26.5 末) 99.0		(各年度5月末) 98.5

(2) 債務総額 (単位：億円)

区 分	実 績					目 標
	H22 末	H23 末	H24 末	H25 末 (見込み)	H26 末	
市債残高	479	472	460	457		407
うち普通会計	258	246	245	254		201
うち公営企業等	221	226	215	203		206
債務負担行為額	15	10	8	6		3
合計（債務総額）	494	482	468	463		410
(参考)臨時財政対策債	56	63	68	74		

(3) 職員数 (単位：人)

区 分	実 績						目 標
	H22.4.1	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	
一般行政職	284	281	271	270	269		269
保育士	50	47	44	42	41		40
技能労務職	90	83	69	61	59		54
消防職	52	52	54	52	52		52
医療職	4	0	0	0	0		0
合 計	480	463	438	425	421		415

※ 「地方公共団体定員管理調査」による（「一般行政職」には、保育士を含まない。）

(4) プランを達成するための具体的な取組の実施状況 (単位：件)

区 分	実 績				
	H22	H23	H24	H25	H26
取組項目数	111	125	126	123	120
◎実施・継続	88	104	109	104	
○一部実施	11	12	9	9	
△検討中	12	9	8	10	
備 考	— 6件終了	20件追加 9件終了	10件追加 8件終了	5件追加 6件終了	3件追加

※ 各年度の目標及び実施内容 ⇒ 別冊「プランの目標を達成するための具体的な取組」